

旧約ダイジェスト⑦

列王記下24：10-20a

2011、8、21 HKJCF

I概観

序) ①ダビデとソロモンの信仰②南ユダと北イスラエルの相違③捕囚と預言者の活動

以下、歴代誌を読みましょう

- 1、南ユダ王国の歴史
- 2、バビロン捕囚
- 3、預言者(2)

適用) 神様から見捨てられた様な状況や感情の時、真の助けとなるのは、なんでしょう？

II南ユダ王国の歴史(1)

- 1、南ユダと北イスラエル
 - ①王と王朝②宗教改革とリバイバル③地理と部族④存続期間⑤捕囚と帰還
- 2、列王記と歴代誌
 - ①契約と礼拝②預言者と祭司③北王国の扱い⇒歴代誌は列王記をふまえた祭司の歴史書
- 3、ユダの王たち
 - ①全20人、8人の善王②5人の王の宗教改革

III南ユダ王国の歴史(2)：歴代下

- 1、アサ(分裂後3代前910-869)最初の改革15
- 2、ヨシャパテ(4代872-48)繁栄と婚姻政策17
- 3、ヨアシュ(8代835-796)アタルヤ後の改革と逆行*ウジヤ=アザルヤ(10代791-40)大繁栄
- 4、ヒゼキヤ(13代716-687)危機、広い改革 29-
- 5、ヨシヤ(16代640-09)律法の書の発見 34-
⇒①偶像の撤去②祭壇の修復③祭儀の回復
限界) ①聖書による宗教改革の継続②王宮の教育
③王の側近による明確な国家政策

IVバビロン捕囚

- 1、アッシリヤとバビロニアの捕囚政策
- 2、最後の王ゼデキヤとエレミヤ
 - ①20代(ヨシヤの末子：597-586)、
 - ②エルサレム陥落③エレミヤの警告と希望
- 3、バビロン捕囚から学ぶこと
⇒①聖書(律法と預言)の国家的・個人的適用
②祈りと悔い改めの深さ③世俗国家との関係

V預言者(2)

- 1、イザヤ：時空を越えたスケールの預言
- 2、エレミヤ：人間の罪の深さと神の愛
- 3、ダニエル：世俗国家での信仰の証と預言
⇒捕囚はユダヤ民族の偶像礼拝の罪の結果
しかし、この時、神様はユダヤ人を祭司の民、
聖書の民として整え、全人類の救いの計画を啓示し、イエス・キリストの福音の備えをされた
⇒第1次世界大戦後の西欧と危機神学